

# 8 版増補 2019 放射線取扱の基礎—第 1 種放射線取扱主任者試験の要点—

## 正誤と更新情報

(2019 年 7 月 31 日現在)

頁	対象箇所	誤	正
化 18	式 (4.10) 分数の分母	$\lambda_1 - \lambda_1$	$\lambda_2 - \lambda_1$
問題集 61 回 物化生 21	問 6Ⅲの解答 注)2 行目	2 本鎖切断が 100 個	2 本鎖切断が 40 個
問題集 62 回 生 10	問 28 の注) C の説明	中性子については、エネルギーが小さいほど放射線加重係数が大きい傾向がある。	中性子の放射線加重係数は、 <b>1 MeV 近傍で最大となる連続関数</b> で与えられている。
問題集 63 回 管 3	問 1Ⅱの注)キ 第 2 項 $\sqrt{\quad}$ 内左	(正味の計数率の標準偏差) <sup>2</sup>	(線源の計数率の標準偏差) <sup>2</sup>
問題集 63 回 化 3	問 6 の解答 注)E の右 <sup>234</sup> U の半減期	<sup>234</sup> U : 4.47 × 10 <sup>9</sup> y	<sup>234</sup> U : <b>2.46 × 10<sup>5</sup> y</b>
問題集 63 回 化 5	問 10 の解答 注) B	(n, y)	(n, <b>γ</b> )
問題集 63 回 化 8	問 20 の解答 4 行目 <sup>125</sup> I の放射能の式(右辺)	= 488.235... × 10 <sup>3</sup> ≒ 490 ※Bq→kBq の換算追記	= 488.235... × 10 <sup>3</sup> ≒ <b>490 × 10<sup>3</sup> (Bq)</b> ≒ 490 <b>(kBq)</b>
問題集 63 回 物化生 6	式 3 2 番目の=のあと 第 2 項分子	d(r cot θ)	d(r <b>cos</b> θ)
問題集 63 回 物化生 13	問 3Ⅱの注) J の式	0.88 × 100 $\frac{6}{666-6}$	0.88 × 100 $\frac{66}{66-6}$

[ 改訂更新 ] 生物学 (生 1 頁) 図 1.1 の改訂 -----

図 1.1 (現在)

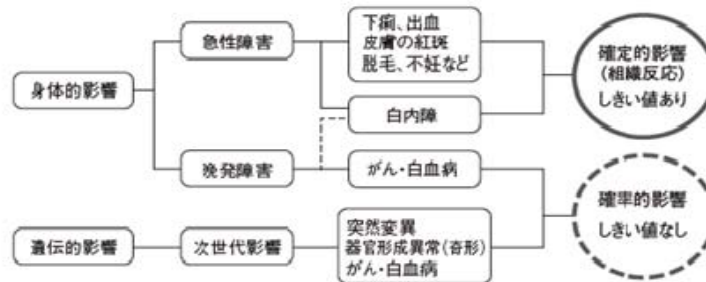


図 1.1 人体に対する放射線影響

図 1.1 (改訂版)

※ 図中の分類がわかりにくいことから □ の部分を改訂。

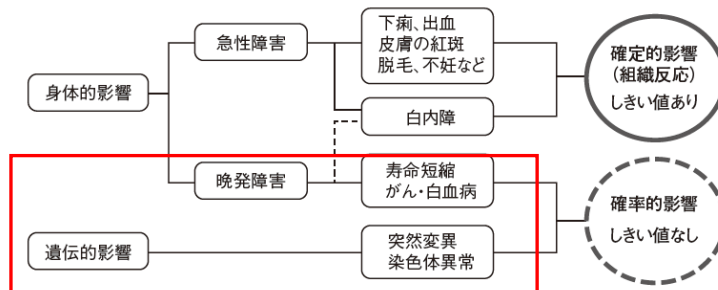


図 1.1 人体に対する放射線影響